

第4回 国営明石海峡公園 神戸地区 基本計画改定委員会

議事要旨

日 時：令和6年1月24日（水）13時30分～15時00分

場 所：神戸地方合同庁舎3階 第6共用会議室（WEB形式併用）

出席者：出席者名簿のとおり

意見概要

- ・ パブリックコメントの意見（要約）と対応方針の整理について、「自然保全ゾーンと棚田ゾーンの違いが分かりづらくなっている」の回答として、ゾーンによって使い方が異なることも補足説明した方が良い。
- ・ 園内の移動手段の充実に関して、園内の歩行者の安全性に配慮して、歩く速度程度で散策気分も味わえる自動走行モビリティ等も検討できると良い。
- ・ 里地里山の景観の管理運営にあたっては、ゾーン毎の植生景観の目標を分かる様にしておいた方が良い。植生景観の違いは、昔の里山である薪炭林の景観を復活させるのか、現在の里山で遷移しつつある落葉広葉樹林の景観を維持するのか、という検討に繋がると考える。
- ・ 今後の整備の方向性について、トレイルの整備に当たっては、トイレの整備も必要となってくる。
- ・ 管理運営計画の中で、園内外との協力について、伐採木の活用などに繋がることを言及しても良いのではないか。
- ・ 本公園では体験する場より先を目指し、各地の里山保全の拠点や人を繋げるハブの様な役割まで果たすことを目指せると良い。
- ・ 教育研究機関等との包括連携として、既に連携した取り組みがある神戸芸術工科大学等も考えられるのではないか。
- ・ 隣接するキーナの森も、コアなリピーターは来てくれているので、初心者層の取り込みを頑張っていきたいと考えている。また、しあわせの村の遊具ゾーンでは遠方からも多くのファミリー層が来ているので、そういった層を本公園やキーナの森に呼び込めると良い。
- ・ 基本計画の緑の保全計画概念図に解説を追加した方が良いのではないか。
- ・ 公園の利用者は1月～3月の期間は非常に少ないので、本公園で自生している春植物を上手く活用できると良い。
- ・ 今後、自然保全ゾーンでの取り組みの方向性も検討できると良い。
- ・ シカの食害影響調査や獣害対策は重要なことなので、引き続き取り組んでいただきたい。
- ・ 公表に向けた計画への反映内容は委員長一任とすることとなった。

以上